

## 日積小学校児童が「森林体験学習」で鳥の巣設置を体験！

令和4年10月13日(木)、柳井市立日積小学校の3~4年生10人が「森林体験学習」として、鳥の巣箱を樹木へ取り付けました。

これは、次代を担う子どもたちに、森林の大切さやふるさとの林業の重要性を体感し、理解を深めてもらうことを目的に、林業研究グループ「柳井ふれあい森の会」(会長：山重義則)が2年に一度、10年以上前から実施しているものです。

はじめに、山重会長から、森林には多くの生き物が生息しているが、森林の手入れを怠ると森林が荒れてさまざまな生物や動物達がすみにくくなってしまうこと、森林には洪水を防ぐなどの働きがあり、私たちにとって大切なものであること等の話があった後、みんなで「しあわせの森」へ入り巣箱の設置を行いました。

児童は、柳井ふれあい森の会の助けを借りながら、おそろおそろ木に掛けたはしご3m~5mを登り、巣箱の紐を結びました。

1時間30分程度で、全員、とても素敵な巣箱を設置できました。最後にみんなで記念撮影をし、この日の森林体験学習を終了しました。

児童たちが作り上げたこの鳥の巣箱には、繁殖前の2月~3月の間に鳥が入るそうで児童たちは自分が制作した巣箱から鳥が顔を出すのを楽しみにしています。



上手く取り付けられるかな？



素敵な巣箱ができました!!